

桑葉の旗のもとに

青梅市立第三中学校
学校だより
平成30年合唱祭特集号

本校ホームページ www.ome-tky.ed.jp/jhs/n3-jhs

合唱祭 圧巻!の3年生

「心が震える 感動の歌声」をありがとう!!

校長 川窪 公夫

10月23日(火)福生市民会館で合唱祭を行いました。当日は天候にも恵まれ、無事故で終了することができました。

当日は、外部から5人の審査員の先生方をお招きし、本校の滝瀬いづみ主幹教諭(通級指導学級・音楽科)に加え、私も人生初の審査員に挑戦させていただき、合計7人で審査を行いました。今年の合唱祭のスローガンは「響け歌声、届け感動 ～一瞬に全力をかけて～」これは、実行委員のメンバーが何度も話し合っ



決めたスローガンです。今回の合唱祭は、実行委員をはじめ、指揮者・伴奏者・各クラスのパートリーダーなどの頑張りによって、このスローガン通りの素晴らしい合唱祭になったと確信しています。1年生は明るく元気に爽やかに、2年生は落ち着いた歌声が充実期に向って

いっていきの様子を感じさせてくれました。学年が上がるにつれて、レベルアップする合唱は聴き応えがあり、会場内に感動が広がりました。特に3年生の学年合唱「大地讃頌」は圧巻で心が震え、目頭が熱くなりました。昨年の3年生の学年合唱も凄かったですが、その先輩たちを超える合唱となったと思います。今年は、日程の都合上、厳しい環境での合唱練習が続きましたが、どのクラスの生徒たちも頑張



って取り組んでくれました。各クラスの発表は、それぞれのクラスの持ち味が発揮され、聴き応えがありました。そして、どのクラスの生徒たちも全員が真剣な表情でひたむきに一生懸命に歌ってくれました。きっと、歌い終わったときに、クラスの仲間と共有できる感情や感動が一人一人の胸に刻まれたと思います。毎年のごとくですが、心が震える素敵な体験をさせてくれる三中生に感謝しています。また、大変多くの保護者の皆様・ご来賓の皆様にお越しいただきました。また、福生市民会館の職員の皆様を始め、合唱祭を支えていただいた方々に御礼申し上げます。

<キラリ振る舞い>・・・合唱祭終了後、会場に携帯電話を落とされた方がいらっしゃいました。その方が探していると近くにいた3年生も一緒に探してくれたことに、「嬉しい気持ちと同時に感動しました。」とのお礼の言葉が学校に寄せられました。キラリ振る舞い = 人の気持ちを思う行動ができる三中生は私たちの誇りです。

<合唱祭審査員の先生方>橋本 研先生(前青梅三小・音楽科) ・ 中村 純子 先生(青梅児童合唱団指導者)
高橋 桂子先生(第14代本校校長・音楽科) ・ 鈴木 恒太 先生(青梅三小・音楽科)
松崎 文子先生(今井小・音楽科) ・ 滝瀬 いづみ(本校通級指導学級・音楽科) ・ 本校校長

【橋本先生からのご講評(趣旨)】1年生は明るく元気な歌声でした。2年生は、歌詞の内容を伝えようと曲想の変化に気をつけていました。3年生は、この合唱にかけるクラスの意気込みとともに重層的なハーモニーを創り出してくれました。全体的に言えることは中学生の行動力は凄いということ。だから、素晴らしい内容の合唱祭になるんだと感じます。この合唱祭での経験を残り5ヶ月となったクラスでの生活に生かしてほしいと思います。また、将来に亘り、音楽や歌を大切にしてほしいと願っています。

<合唱祭審査結果>

学年	金賞クラス (自由曲名)	銀賞クラス (自由曲名)	指揮者賞	伴奏者賞
第1学年	1年1組 (マイバラード)	1年3組 (大切なもの)		
第2学年	2年3組 (この地球のどこかで)	2年1組 (COSMOS)		2-3 伊藤 詩
第3学年	3年2組 (信じる)	3年4組 (虹)	3-2 松原 花	3-2 馬場 果音 3-4 三橋 琴羽

PTA合唱・吹奏楽部

3年生の素晴らしい合唱の後、PTA合唱恒例の「大地讃頌」が披露されました。この日のために夜、4回ほど集まり練習をしました。テンポをゆっくりとした大人の雰囲気大切に合唱を心がけました。最後に、吹奏楽部が「2018上半期メドレー」「かっぱれ佞武多(ねぶた)」の2曲を演奏し、合唱祭に華を添えてくれ、審査発表までの一時、会場は大いに沸きました。

【実行委員長のことば】<前略>今年の合唱祭のスローガンは「響け歌声、届け感動～一瞬に全力をかけて～」です。このスローガンは、全校生徒ひとりひとりがアイデアを出すところから始め、つくりあげたものです。<略>スローガンのもと三中生一丸となって練習を積み重ねてきました。今日は、これまで培ってきた団結力を発揮し、全力を出し切って、最高の舞台にしましょう。<中略>今まで一緒に過ごしてきた仲間たちと、悔いのない精一杯の歌声をホールに響かせてください。保護者の皆様、そして先生方、今日まで私たちを励まし、支えてくださってありがとうございます。皆様からいただいたアドバイスや応援を胸に精一杯頑張ります。<略>今まで協力して頂いた保護者の皆様、先生方に感謝の気持ちを込めて、素晴らしい歌声と感動を届けましょう。(3-2 長谷川 樹)

トピック 新型キーボード登場!

合唱練習に効率の良さを発揮するキーボード。現在使用しているものは、鍵盤の数が少なく3年生の練習には不都合がありました。ピンチを知った本校同窓会が新機種を3台、寄贈してくださいました。今後も大切に使用させていただきます。ありがとうございました。



私たち3年生にとっては中学校最後の合唱祭だった。2組は担任の先生が音楽科ということもあり<中略>ほとんど実行委員を中心に練習した。二人がクラスをまとめてくれた。<中略>うるさい時も女子・男子関係なく“集中しよう!”と“頑張って金賞取ろう!”と頑張ってきた。合唱祭4日前くらいは、男子と女子の間にちょっとしたトラブルもあった。そこから、練習の仕方を少し変えてみた。今までは、とにかく音合わせメインだったのを合唱メインの練習にした。こうしたことで、男子・女子の直すべきところを指摘し合うことができた。そうすると音が合ったり、声が出たりしたがこの時、改めてクラスが団結したように感じた。合唱祭本番は、今までよりも一番良かったと思う。練習でソプラノの音が合っていなかったところがあって、結構心配していたけれど、本番合って嬉しかった。言葉もはっきり言えて、観客に伝えられたと思う。どのパートも難しい音程を合わせることができて良かった。私は今年の合唱祭で指揮者を務めた。みんな声も出ているし完璧だから、この歌をもっといいものにしたいと思って伴奏者と一緒に放課後練習をした。本番もしっかりと練習の成果が出せたと思う。でも、もう少し笑顔でやれば良かったと思った。<中略>合唱とは別にルールも守れたので、とても良い合唱祭になった。2年生も1年生も上手でびっくりした。今回はどの学年もどのクラスもとても上手だった。だから“絶対に金賞とるぞ!”って思えた。合唱祭は悔いの残らないものとなったけれど、もう一回このクラスで歌いたいと思えた。本当に金賞嬉しいです!(3-2 加藤 花)

今年の合唱祭は私の中でとても素晴らしい思い出になりました。<中略>3組は普段から給食の補助や黒板消し、プリントの配布など周りのことを考えてくれる人がたくさんいます。合唱祭練習では、実行委員や指揮者、パートリーダーを中心にみんなが互いのことを考えて練習してきました。一人が意識するだけでなくみんなで声を掛け合っていくことで、クラスがまとまっていくということを実感しました。また、切り替えの大切さを学びました。練習と授業の切り替え、遊びと練習の切り替えなど引きずらないで、けじめをつけることの難しさや大切さも学びました。<中略>先生には、合唱祭担当でとても忙しい中、練習の音をとっていただいたり、クラス用の楽譜を作っていただいたりしました。3組は、クラス全員が一つの目標に向かい団結したから、金賞を受賞することができたのだと思います。私は2曲の伴奏をさせていただきました。はじめは、引き受けていいのかなと思っていましたが、クラスみんなが応援してくれたので本番楽しく演奏することができました。指揮者やみんなに迷惑をかけてしまったところもあるかもしれませんが、3組の伴奏ができて本当に嬉しくて楽しかったです。みんなで一生懸命練習をしてみんなで受けることのできた金賞は、今まで感じたことのないほどの嬉しさでした。3組のみんな、ありがとう!(2-3 伊藤 詩)

初めての合唱祭はとてもいい経験になったと思います。また、クラスの団結がより一層深まりました。でも練習は何度もやるうちに言い合いになったり、ふざけたりする事が増えました。僕は合唱祭実行委員なので、そんな中で皆をまとめなければなりません。いつしか僕もきつい言葉を言い合ったりしていました。そんな日々を過ごしていくなか、だんだんとまとまり合ってきました。僕はそれが嬉しかったです。そして、合唱祭当日、皆が緊張している中、自分たちの番が来ました。あまり声が出ないのかなと思いつつ本番に臨みました。しかし、予想以上に声が出て良かったと思いました。そして、課題曲・自由曲と続き歌が終わりました。当然、実行委員なのでまだやる必要があります。僕は3年生の司会をやる事になっていたのでごく緊張していました。実行委員でリハーサルする時、早口でたくさん噛んでしまったので、より一層緊張してしまいました。本番では練習したかいがあり、ゆっくり読めました。一回だけ噛んでしまったけどいい思い出になりました。また、実行委員になりたいと思います。(1-1 加藤 清孝)

